

関東大学サッカーサポーターズクラブ

サポーターズクラブ会員

年会費 継続：2,500円
新規：3,000円

- 特典① 会員限定 HP の閲覧
・24 大学の履修申込、動画インタビューなど
- 特典② 会報誌のお届け
・各大学特稿の掲載など
- 特典③ プログラムの割引



シーズパス会員

年会費 5,000円

- 特典① (一財) 関東大学サッカー連盟主催の大会が無料で観戦可能
・関東大学サッカーリーグ戦、アマノバイタル杯・インビテンダンスリーグ(関東)
- 特典② プログラムの割引



同時入会だとさらにお得!!

年会費 継続：7,000円
新規：7,500円

※新規会員の方はJカード発行料 500円を含みます。
サポーターズクラブ会員とシーズパス会員を同時に入会して頂きますと…
年会費が 500円お得!



入会方法の詳細は、関東大学サッカー連盟公式 HP 内右上にあるサポーターズクラブ欄 (<http://www.jufa-kanto.jp/regist.php>) をご覧ください。



試合情報や選手のインタビュー、HP の更新情報を Tweet します。皆様のフォローお待ちしております!



関東大学サッカーサポーターズクラブ

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-10-15 JFA ハウス7階 (一財) 関東大学サッカー連盟内
Tel : 03-3830-1850/Fax : 03-3830-1851/Mail : kuss@jufa.jp 緊急の連絡でない限り、メールでお問い合わせください。

大会公式プログラム

本リーグ戦の大会公式プログラムをゲートにて 1000 円 (KUSS 会員 800 円) で販売しております!

- ☆24 大学の登録メンバーのプロフィール
- ☆福島春樹×湯澤聖人スペシャル対談

- (専大・美季道和レス内定) (流経大・美季裕レイソ内定)
- ☆24 大学サッカー部自慢

スペシャル企画満載です!

大学サッカー観戦の **マストアイテム**♥



ぜひゲートにてお買い求めください!

集中応援情報

●桐蔭横浜大学

5月3日(日)11:30Kick off
vs 神奈川大学
@県立保土ヶ谷公園サッカー場

●法政大学

5月3日(日)11:30Kick off
vs 駒澤大学
@味の素フィールド西が丘

親に来てね!



JR 東日本カップ 2015 第 89 回 関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.23-NO.03 Division 1

発行：(一財) 関東大学サッカー連盟 協力：加茂 都実、関東大学サッカーサポーターズクラブ

慶大、明大が開幕連勝スタート！連戦を制するのは？

ついに開幕した JR 東日本カップ 2015 第 89 回関東大学サッカーリーグ戦。第 2 節も互いの思いがぶつかり合う白熱した試合が展開された。

11 日(土)に行なわれた慶大対駒大の一戦は、慶大の端山(4 年)と松木(1 年)がそれぞれ 1 ゴール 1 アシストを記録し、開幕 2 連勝を飾った。続く明大対法大戦では、明大の藤本(4 年)が 2 ゴール 1 アシストの活躍。2 戦連続で 3 得点を挙げた明大が、勝ち点を 6 に伸ばした。一方、国士大対流経大の試合は、前半に挙げた 1 点を守り切った流経大が今季初白星。逆に国士大はこれで開幕 2 連敗という悔しい結果となった。また早大対桐蔭大の一戦では、互いに果敢にシュートを放つも決定力に欠け、1-1 で勝ち点 1 を分け合う結果となった。

12 日(日)に行なわれた専大対神大では、昨季王者の専大が幾度

得点ランキング	アシストランキング
1位 藤本 佳希(明大) 3 点	1位 平野 嵩志(明大) 3 アシスト
2位 矢島 輝一(中大) 2 点	2位 松本 敬之介(慶大) 2 アシスト
木戸 皓貴(明大) 2 点	新里 涼(明大) 2 アシスト
山本 哲平(慶大) 2 点	

もゴールに迫るが、決め切ることが出来ずにスコアレスドローに。順大対中大戦は、中大の矢島(2 年)が 2 戦連続でゴールを決めて順大に追いつくも、試合終了間際に順大が追加点。これが決勝点となり、順大が待望の今季初白星を獲得した。

今節も続く熱い展開に、選手達の活躍から目が離せない!

JR 東日本カップ 2015 第 89 回関東大学サッカーリーグ戦 1 部 順位表

[1 部 第 2 節終了時]

JR 東日本カップ 2015 第 89 回関東大学サッカーリーグ戦 1 部										
順位	チーム名	勝点	試合数	勝数	分数	負数	総得点	総失点	得失点差	
1	慶應義塾大学	6	2	2	0	0	5	1	4	
2	明治大学	6	2	2	0	0	6	4	2	
3	早稲田大学	4	2	1	1	0	2	1	1	
3	流通経済大学	4	2	1	1	0	2	1	1	
5	順天堂大学	3	2	1	0	1	4	4	0	
6	駒澤大学	3	2	1	0	1	3	3	0	
7	専修大学	2	2	0	2	0	1	1	0	
7	神奈川大学	2	2	0	2	0	1	1	0	
9	中央大学	1	2	0	1	1	2	3	-1	
9	桐蔭横浜大学	1	2	0	1	1	2	3	-1	
11	国士館大学	0	2	0	0	2	0	2	-2	
12	法政大学	0	2	0	0	2	2	6	-4	

体育会学生のための

リクナビ就職エージェント

ただ、自分に勝ちたい。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会



RECRUIT

サッカー部はゴールで決める!

体育会系学生就職支援企業
Zeal Athlete Agency



明治大学 VS 神奈川大学

4月15日(水)
16:00
三ツ沢

2連勝したものの、2試合で4失点。明大らしからぬ戦いに見えるが、現在のチームは発展途上。逆に、失点しても慌てないチーム作りを行っており、しっかりと勝ちきっていることで徐々に地力がついてきている。ここまで攻撃のところが重点的にやっていたのもその理由だ。とはいえ、ここからは守備のペースも必要になってくるだけに、いかに失点の部分を修正していくかがポイントになる。

昨年、関東リーグ4連覇を達成した専大との対戦だった神大。圧倒的に攻め込まれる展開となったが、守備陣が耐えて無失点に抑えた。勝点3こそ奪えなかったが、引き分けに持ち込んだのは自信につながる。2試合を終えて2引き分け。勝点3を得るためには、決定機をもう少し多く作り出した。

出場停止：なし
昨年度の対戦：なし

藤本佳希 (明大・FW・4年)

2点とも自分の形でシュートまでいけたので、得点自体は良いゴールだったと思う。ただ、2試合連続3-2と、2失点が続いているのは問題だと思う。何が原因なのかを考えて次の試合に活かしていきたい。



寺前光太 (神大・DF・2年)

監督からは「緊張しないで思い切りやれば自分の良さが出せる」と言われていた。今日は1点の勝負になると思っていたので後ろが0で守り切れたのはよかったが、1点を取って勝ちたかった。次こそ引き分けではなく勝ちたい。



専修大学 VS 法政大学

4月15日(水)
16:20
三ツ沢

昨年の王者・専大が苦しんでいる。開幕戦で流経大に1-1で引き分けると、前節の神大戦も0-0のドロー。この試合、幾度もう決定機を作ったが、ことごとく決められず、自滅してしまっ。また、カウンターでのピンチもあっただけに、攻守とも今後に向けて修正が必要だ。

1部昇格組の法大。前節の明大戦は前後半ともに相手よりも多くシュートを放ったものの、前半41分、後半3分と一番注意しなければいけない時間帯に失点し、2点のリードを奪われてしまった。その後、1点を返したが、10分後に再び2点差。43分に2点目を奪ったが粘りもここまで。2連敗スタートとなってしまった。交代で入った選手の活躍など、チームに明るい兆しがあるだけに、これをしっかりと勝点に結びつけていきたい。

出場停止：なし
昨年度の対戦：なし

飯田貴教 (専大・DF・3年)

無失点に抑えられたことは良かったが、専大は攻撃的で美しいサッカーを持ち味としているので、点を取らないと駄目。開幕から2戦引き分けが続いて厳しい戦いが続いているが、次こそは勝点3を取れるようがんばりたい。



高田一輝 (法大・FW・3年)

監督からは走ることで点を取ることを言われていたので、前からボールを追おうと思っていた。点を取れたのは良かったが勝てなかったのは課題。専大は強い大学だが、昨年の総理杯でも勝っているし、チャンスはあると思う。



国士舘大学 VS 駒澤大学

4月15日(水)
11:30
川口

開幕から2連敗と苦しいスタートになってしまった国士大。前節の流経大とのゲームは、ペースを握られた前半に失点。後半に盛り返した部分もあったが、ゴールを決めきれず、0-1の敗戦を喫してしまった。1失点にしているものの、守備は大きく崩れていないだけに、課題は2試合連続でノーゴールの攻撃面だ。攻撃の最後にもう一工夫がほしい。

初戦は2-1で勝利を飾った駒大だったが、前節の慶大戦は1-2の敗戦。立ち上がりから慶大のペースで試合は進み、前半に2失点を喫してしまった。この日は得意の競り合いに勝つず、なかなかペースを握れなかった。それでも、後半に入って調子を取り戻し、26分には1点差に詰め寄った。粘りのプレーは健在だけに、次はしっかりと勝利に結びつけたい。

出場停止：なし
昨年度の対戦：国士大2-2 駒大/国士大2-1 駒大

下田廉太 (国士大・FW・3年)

なかなかゴールに行く機会が少なくチャンスがない中で、もう少しボールに絡んでチャンスを作れば、と思う。ここまでシュートが少ないうので、次の試合ではシュートの意識を高く持ち、流動的に動いてゴールを狙いたい。



種岡峻将 (駒大・DF・3年)

全体を通してセカンドボールを拾えず、サイド攻撃もできていなかった。監督のいうサッカーを徹底できなかったことが敗因。次節にむけて、もう一度チーム一丸となり、目指しているサッカーを全力でやりたいと思う。



慶應義塾大学 VS 流通経済大学

4月15日(水)
13:50
川口

開幕2連勝と好調なスタートを切った慶大。前節の駒大戦はとにかく立ち上がりは素晴らしいが、そのままの流れて29分、36分と2点をゲット。試合を優位に進めた。一方、後半はやや押される展開となり、26分には1失点を喫したが、GK宮原隆志(4年)を中心に、安定した守備をみせた。今年の慶大は攻守にバランスが取れている。今節、流経大を下せば、一気に波にのる可能性も。対する流経大もここまで自分たちらしさを発揮している。開幕戦では専大に勝ちきれなかったものの1-1のドロー。前節の国士大戦は1-0と接戦だったが、ゲームをしっかりとコントロールした。リーグ優勝に向けて、まずまずのスタートを切った。今年の流経大は接戦をもにすだけの力を持っているだけに今後注目だ。

出場停止：なし
昨年度の対戦：慶大0-0 流経大/慶大0-0 流経大

端山豪 (慶大・MF・4年)

後半押し込まれる時間帯もあったが、チーム全体でそれらをのぎ、しっかりと勝点3を積み重ねることができた。勝を取ったことはよかったが、まだまだ得点する機会も攻撃参加できる機会もあったので、その点を改善したい。



塚川孝輝 (流経大・MF・3年)

国士大は最近勝っていない相手で、絶対に勝ちたいと意識していた。最近チームでもミドルシュートの練習をしていたが、その成果が出てよかった。今年は3冠という目標を掲げて1試合も落とせない。次節も勝てるよう頑張りたい。



早稲田大学 VS 中央大学

4月15日(水)
16:00
江戸川

前節、桐蔭大と対戦した早大。なかなかペースをつかめず0-0のまま前半を終了。後半は両チームともに活性化。お互いにチャンスを作り、早大が9分に先制点を奪ったが、36分にカウンターから失点を喫し1-1の痛い引き分けとなった。相手の好守備に阻まれた場面もあったが、さらに攻撃のバリエーションを増やしたり、決定力を上げたりしていかなければ、厳しい戦いが続くことになる。

1分1敗と少し苦しいスタートとなった中大。前節の順大戦は立ち上がりの5分にCKから失点。その後、一度は同点に追いついたが、試合終了間際にFKから失点を喫してしまっ。1失点目CKが直接入ったものだが、セットプレーの守備に関しては再確認が必要。内容はほぼ互角だっただけに、自信を持って戦い続けたい。

出場停止：山内寛史(早大)
昨年度の対戦：早大2-1 中大/早大2-0 中大

奥山政幸 (早大・DF・4年)

開幕戦に引き続き難しいゲームに勝ちましたが、このような厳しいゲームに勝ちきれないのが今の自分たちの力だと思います。目標であるリーグ優勝達成のために気持ちを切り替えて必ず勝点3を掴みたいと思います。



種本龍馬 (中大・MF・3年)

内容は前回よりも良く、開幕戦の反省点を生かすこともできたのに、最後にやられてしまった。もったいなかった。ただ、またすぐに試合があるので、今日の悔しさを忘れずに、次は絶対に勝てるようにやっていきたい。



順天堂大学 VS 桐蔭横浜大学

4月15日(水)
18:20
江戸川

中大との前節は接戦を制し、2-1の勝利を取った順大。開始直後の5分、CKから先制点を奪ったが、25分には一瞬のスキをつかれて同点に追いつかれてしまった。その後、後半43分に値千金のゴールを奪った。今年も終盤に強い順大は健在だが、優勝を狙うにはまだまだ課題は多い。

後半、多くのチャンスを作りながら、決めきることができず、早大との前節は1-1の引き分けに終わった桐蔭大。ボールを動かすことはできているが、それに終始してしまい、ゴール前へ迫る回数は少なかったといわざるを得ない。今後、攻撃面での改善が必要だ。一方で、守備に関しては1失点したものの合格点。早大を相手にピンチの回数はそれほどなかった。ただ、その1失点が自分たちからのミスだったのは改善点だ。

出場停止：なし
昨年度の対戦：順大4-1 桐蔭大/順大2-0 桐蔭大

坂圭祐 (順大・DF・2年)

新監督となり、なかなか自分たちのサッカーが出来ずにフラストレーションがたまっている中で、勝ち切れたことはよかったと思う。ゴールも練習でやってきた通りの形。キッカーがゆるく蹴ってくれたので感謝している。



田中雄大 (桐蔭大・GK・2年)

0に押さえられるのは難しくて、決定的なシュートを2、3本止められれば必然的に勝ちにつながる。今日は決定的なシーンが3本あって、うち1本決まられているので、そういった意味で勝ちに繋げるプレーができなかった。

